



2020年度協会計画研修・6月末開始

研修部



2020年度協会実施研修は、新型コロナの影響で4月から東西研修センターとも休止を余儀なくされてきました。通常、5月からは会員各社の新入社員向け各種基礎研修が複数実施されるなど大変な賑わいを見せるのですが、今年は職員も在宅勤務、時短勤務等を実施し、閑散とした毎日です。

5月に入って感染者が減少傾向となり、下旬には全国の緊急事態宣言が解除されたことから、ようやく6月末から開始する運びとなりました。

1. 研修計画修正の考え方

(1) 感染防止が大前提

後述しますが、受講者、講師、職員等、全員の安心安全確保の観点から、感染予防対策を徹底します。ウイルスの性質や感染経路など未だ不明な点が多く、できる限りの対策が必要ではないかと考えています。

(2) 当初計画研修は極力再設定

通常12カ月で立てた年間計画を、今年度は9カ月間で再設定することになりました。そのため、会社講師のみなさんには例年以上に協力いただくとともに、職員、研修施設もフル稼働で対応します。通常夏休みとなる8月も通月で計画を入れています。再設定状況は表のとおりです。

なお、感染予防対策上やむを得ない場合は内容変更、部分中止等を実施しますが、研修の要諦にかかわる場合は研修コース自体を中止することにします。具体的には研修実施場所（東・西研修センター、委託先、会社等）により条件、環境が異なるため、それぞれで検討した見直しとなります。

(3) 再設定は基礎研修、安全、技術、公的資格研修を優先

協会研修の原点である設備系人材の育成を重点に、通信設備工事、保守に関するスキルアップ、資格取得を目的とした研修を優先的に実施します。また、グループ実習・演習が多い研修は、この先の感染の落ち着きを期待して極力年度後半に計画するなどの工夫をしました。

NTT東西グループ様へ委託している研修については、大半が今後の調整となることから、準備できたものから研修情報を発信し円滑な受講につながるよう留意してい

きます。

(4) 各社の受講希望者数は当初計画値を適用

研修実施可否、日程などは計画し直しとなりましたが、各社の受講希望者数は当初計画通りとしています。密状態を回避しつつ多くの受講者を受け入れるため、より広い会場の確保はもちろん、2教室に分けて映像で結ぶことによる面的離隔や、定員を減らして実施回数を増やす時間的離隔確保対策を実施します。

なお、研修休止期間中に会社にて代替手段を講じた、公的試験日程が経過した、などにより希望者数減が明確な場合は修正値を適用します。

表 研修再設定状況（5月末現在）

再設定区分（注）	東日本研修センター	西日本研修センター	計	
実施	当初どおり	63	14	77
	延期	45	19	64
	延期・回数増	3	3	6
	延期あり	13	4	17
	延期あり・回数減	2	0	2
	延期あり・回数増	1	0	1
	回数減	6	0	6
	回数増	0	4	4
	前倒し	0	3	3
	前倒し・回数増	0	1	1
調整中	5 (4%)	82 (58%)	87 (30%)	
中止	11 (7%)	12 (8%)	23 (8%)	
計	149 (100%)	142 (100%)	291 (100%)	

注：凡例

- ・延期：開催回全てを延期
- ・延期あり：開催回の一部を延期
- ・中止：開催回全てを中止

2. 感染防止対策

本稿を執筆している6月上旬においてもクラスターが発生しており、感染予防対策を緩和できる状況にはありません。受講者等受入れ側としては打てる手立ては打って、少しでも安心して受講できる環境を整備します。感染予防対策は施設面だけでなく、受講者、講師、職員1人ひとりの振る舞いで成立します。

受講者、講師のみなさまには、受講にあたっての遵守事項等を作成し、各社人材開発ラインを通じて届いていると思いますが、研修センターHPにも掲載しましたので

確認してください。

(1) 飛沫感染および接触感染対策

- 座学では前後約2mの離隔を確保、実習では密状態回避の運用を徹底
 - ・ 2教室分散授業および外部会議室等利用も実施
 - ・ 食堂、喫煙所等共同利用場所を含む（席の間引き、立ち位置マーキング等実施）
- 研修開始・終了時間等の柔軟運用による出退勤、共同利用場所の混雑回避
- 受講生、講師ともマスク持参・着用を必須とし、必要によりフェイスシールド併用
- 各研修室、食堂等への消毒液配備とドアノブ、研修設備、食堂テーブル等の消毒実施
- 積極的な換気（少なくとも休憩時間の窓、ドア開放）
- 東日本研修センタの寮宿泊の中止、共通設備使用の原則中止

(2) 不調者対策等（受講生、講師、職員等）

- 研修前2週間以内に発熱等により欠勤した者への来所自粛を要請
- 受講生は来所時の検温と記録、講師と職員は毎朝検温を実施
- 発熱、倦怠感、呼吸違和感訴求者はもとより、咳、くしゃみ頻発者は早退を指示
- 感染が疑われる場合は、帰国者・接触者相談センターに連絡し指示に従う

受講者、講師のみなさまには何かとご不便をおかけしますが、集団生活においては1人ひとりの意識と行動が大切ですので、お互いに協力して安全な環境を創っていきましょう。

写真 感染防止対策状況



(1) 授業風景



(4) 講師のフェイスシールド着用



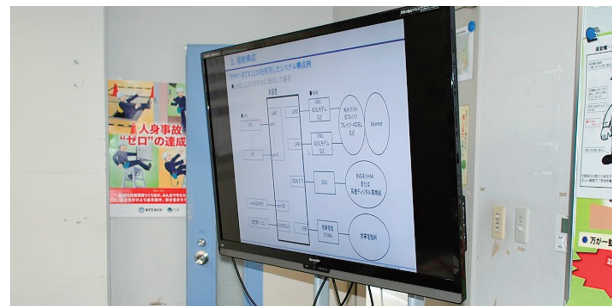
(2) 受講者離隔確保（東日本研修センタ）



(5) 2教室分散授業（講師映像受信）



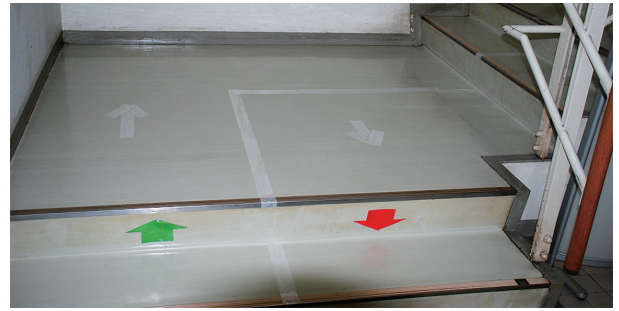
(3) 受講者離隔確保（西日本研修センタ）



(6) 2教室分散授業（教材映像受信）



(7)アクセス実習風景



(12)歩行区分の明示



(8)ネットワーク実習風景



(13)待機位置の明示



(9)危険体感実習風景 (梯子滑り)



(14)食堂における2m離隔の確保と除菌スプレー等の配備



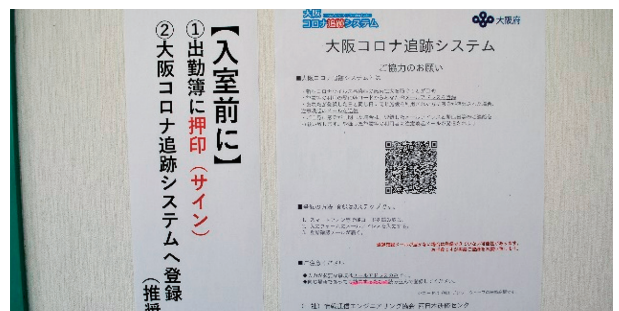
(10)危険体感実習風景 (電柱転落)



(15)冷蔵庫使用中止に伴う保冷バック・保冷剤の用意



(11)消毒、衛生用品



(16)QRコード式大阪コロナ追跡システム (西日本研修センタ)